



第26回 ^{だい} ^{かい} アイム・ジャパン ^{さくぶん} 作文コンクール

最優秀賞

題名 『 日本での成長と感謝 』

しめい 氏名	レヴァン ツ
しゅっしんこく 出身国	ベトナム
かいしゃめい 会社名	株式会社 川上工業所
しよくしゆ 職種	機械保全
たんとうしきよく 担当支局	関西支局
にゆうこくび 入国日	2022年 ^{ねん} 5月 ^{がつ} 7日 ^{にち} 3年目

「日本での成長と感謝」

レヴァン チン

私がアイム・ジャパンの实习生として日本に来たから、ほぼ3年が経過しました。この間、私は日本の文化や技術を学び、多くの貴重な経験を積むことが出来ました。特に、川上工業所で焼却施設の機械保守に従事すること、私の仕事の重要性や、日本の職人精神について深く理解することが出来ました。この文章では、私の経験を通じて、機械保守の意義やその影響についてお話しします。

まず、日本での仕事を通じて驚いたのは、国民の仕事に対する姿勢と責任感の強さです。特に焼却施設における機械保守は、単なる設備の維持管理ではなく、環境保護や地域社会の生活の質に深く関わっています。私たちの施設では、焼却炉や排ガス処理装置など、さまざまな機械が稼働しています。これらの機械が正常に機能することは、廃棄物を安全かつ効率的に処理するために不可欠です。毎

日、機械の状態を細かくチェックし、必要な修理や調整を行うことで、スムーズな運営を支えています。

日本では、どんな小さな問題でも見逃すことが許されず、常に最良の状態を保つための努力が求められます。例えば、焼却炉の温度管理や煙突からの排ガス処理は、環境への影響を最小限に抑えるために非常に重要です。このような徹底した管理は、日本の技術力と職人精神を象徴するものであり、私自身も日業務を通じて学びを深めています。

また、私の母国ベトナムに比べると、日本では焼却施設の機械保守に対する意識が非常に高いことに気づきました。ベトナムでは、多くの地域で廃棄物処理が適切に行われておらず、環境問題になっている、日本のように廃棄物処理が効率的に行える体制を整えていくことで、環境問題の改善や地域住民の健康を守ることが出来ます。私たちの仕事は、地域社会に貢献する重要な役割を果たしている

と感じています。

さらに、日本の焼却施設では最新の技術が導入され、効率的な運用が実現されています。機械にはセンサーが取り付けられ、リアルタイムでデータを収集することで、異常があれば即座に知らせるシステムが整っています。しかし、技術が進歩しても、最終的には人間の知恵と経験が不可欠です。私たち保守担当者は、機械の状態を的確に判断し、適切な対応をするために、日々の経験を大切にしています。

まとめとして、川上工業所での焼却施設の機械保守を通じて、私は多くのことを学び、成長することが出来ました。日本での経験は、私にとって単なる職業的なスキルの向上だけでなく、社会や環境への意識を高める貴重な機会となりました。これからも、この経験を生かし、自国の環境問題の改善に貢献できるように努力していきたいと思います。私の仕事は、未来のための大切な役割を担っている

と、心から感じています。

最後に、日本での生活と仕事を支えてくれた川上工業所の皆様、アイム・ジャパンの関係者、そして日本のすべての人々に心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。日本での貴重な経験は、私にとって一生の宝物であり、今後もこの経験を大切にしながら、前向きに人生を歩んでいきます。